

## 最近考える事

川田 孝徹

横から見たら、不安定な姿勢で、フラフラしながら歩いている自分が見える。何時チャガマツテも不思議はない様な情けない状態で、然し何とか背筋を伸ばして―と努力はしているのだが。山田風太郎さんの随筆「後千回の晩飯」が現実の物になってきたと思う昨今である。若すぎず、老いすぎず、丁度良い時と言うのは無いのかも知れないが、ダイヤモンド教授の、日本で子供に教えるベスト3の「他人に迷惑をかけるな」はアメリカでは20位にも入らないと言う言葉を救いに、その時まで迷惑をかけっ放しで行くしか無さそうである。

30年以上宝塚市に住んでいる。今、月に2回位のペースで南国市に草刈に通っている。本を読んだり、居眠りをしたり

の片道4時間は苦痛ではない。耕作放棄の田んぼは梔子に合わないの。人に頼み、家の周りの少しばかりの畑で草と格闘した後のビールが美味い。

中高一緒であった川添晃氏、垣内節子氏には年に何回かお目にかかれて心強い。

さて、長話や駄文は認知症の初期症状だと聞いている。器官の衰えと前後して、感受性や興味を失くしていくという過程を見事に辿っている事をご報告し、バタバタせずに現状を受け入れたいと思いなから終わりとします。

後千回、どうぞいい晩飯を撮られん事を祈ります。